

# 9月の園だより

平成30年度

人と人が分かり合うためには、しっかり向かい合って話をしなければならない。よくよくどのような場でも語られる言葉です。確かに、向き合うことは大切なことです。しかし、時と場合によりそうばかりではないように思います。星の王子様の著者サン・テグジュペリは次のような言葉を残しています。「愛する、それはお互いに見つめあうことではなくて、一緒に同じ方向を見つめることである。」この言葉から、愛に限らず、共に生きていく上で同じ方向を見つめることが大切だということに気づかされます。確かに、向かい合っているときよりも、一緒に並び、同じ活動をしているときのほうが、一つになれた感はいくつにも多いように思います。私達は、みんな一緒に、仏様に向かって手を合わせます。共に同じ方向を見つめ、みんな仏様のお慈悲の中に内包されている存在だという共感の中で、少しずつではあるけれど、みんなが一つになれる方向へと歩ませて頂けるようになるのです。みんなで仏様の方向を見つめることを大切に、今月は歩んでいきたいと思います。合掌 ～まことの保育 月刊誌9月号より～

## 8月の子供たち!! 太陽とお友達♪



先生たちと鬼ごっこしながらの水風船遊び! 園庭を走り、蝉やトンボさんと追いかけてこのひと時となりました。楽しかったね!!

◆今月のありがたう◆  
暑い、暑い毎日を無事に乗り越えられるように、多方面より応援の声等々沢山頂戴して、心もお腹もいっぱいになることが出来ました。また、皆様からの応援の声が、子供たちにも届き、お陰で元気いっぱいに過ごせたようです。本当に、いつも有難うございます。

## 行事予定

<以上児>

- \* 規則正しい生活に戻る。
- \* 敬老の日を知る。(お年寄りとお話し、ありがとうと伝える)
- \* 遊びや運動に元気いっぱいとりくむ。

<未満児>

- \* 夏の疲れに注意し、生活リズムを整える。
- \* 元気いっぱい遊ぶ。  
(はしる・のぼる・ぶらさがる・ころがる・はう)

- 9 / 3日(月) 人形劇観劇会
- 9 / 10日(月) クロネコ交通教室
- 9 / 10日(月)~12日(水) 副主任マネジメント研修会 東京 (永戸寛子)
- 9 / 14日(金) 9月生まれのお誕生日会
- 9 / 21日(金) 祖父母参観



### ☆英語で遊ぼう

—見学会随時開催—

### ★体育教室

☆ロワーナ先生 9月 5日 9月 19日 ☆9月 25日  
☆マーレン先生 9月11日



\*季節の食育\* 今年の夏の熱波は 夏野菜にも影響を及ぼし、少々元気がありませんでした。それでも、アスパラやキャベツ、キュウリなど夏らしい味を楽しむことが出来、子供たちも大満足の様子でした。また、夏のメニューには小桜コックさんの愛のワンポイントも加わり、子どもたちにとっても忘れられない食彩食味になったのではと思います。さあ、秋はさつま芋の収穫です! 只今伸び盛りです!

## 先月の ちょっとひとコマ♪

子ども達の笑顔と成長は



何処へ行っても「暑い! 熱い! あつーい!」その言葉を聞かなかった日は無かった程に、日本全国で連呼されておりました。ここ小桜保育園でも例外ではありません。しかし、8月はそんな毎日を吹き飛ばすような元気いっぱいの活動の姿があったことが救いです。どの写真の顔も「良い(^\_^)」ですね!

20ピースの中に届けられた子供たちのそれぞれのティラノザウルス、一つ一つは何を表しているのか分からないけど、「あら!」不思議、みんなのピースがひとつに集まると...。そこには元気豊かな子供達にも似た恐竜の姿が現れました。保育実習の先生と20人のゆり組の子ども達、期間を通してどんな物語が生まれたのでしょうか。恐竜の卵はその後、どうなったかなあ?

待ちに待ったお誕生日会。今月は8月の最後の日となりました。暑い月を元気に過ごし、一回りも二回りも? 大きくなった子供たち。主役の本日、どんなことを思っているのでしょうか(●>●<●) また、アイスクリームのうた&ダンゴムシロックを披露してくれたら組さん。みんなのダンゴムシへの気持ちがばっちり伝わってきました!! 楽しい演技をありがとう♪拍手

## わだい 9月14日(金) お誕生日会 9月生まれのお友達 担当:ゆい組

毎月1回、その月に生まれたお友達を囲んで皆でお祝いします。誕生者へのインタビュー&歌や職員による出し物があります。お誕生日会への参観は自由ですので、時間に都合がございましたらお出かけ下さい。時間帯は、9時40分より1時間程度です。

## わだい 9月21日(金) 祖父母参観 開始 9時40分から始めさせていただきます!

【午後は通常保育となります】

今日はお祖父ちゃん、お祖母ちゃんを僕たちの保育園に招待して、気持ちのバトンを伝え合えればと考えています。いつもは当たり前前と思ひ、中々言えない言葉を、子ども達は歌に思いを込めて一生懸命に披露します。「ありがとう」のその一言一言が素直な気持ちとなり、会場に響き渡ればと願っています。平日でもあり、多々お忙しい時期でもありますが、宜しければお時間に都合をつけて参観して頂ければと思います。

楽しい給食もあります! 持ってくるもの:大人ひとり米一合!